

切除、植皮、SNを受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	月日	入院	手術前	手術後	術後1日目	術後2～7日目	術後8～9日目退院
達成目標		<ul style="list-style-type: none"> 手術に対して分からないことや不安なことを医療者に表出し、精神面・身体面を整えて手術を受けることができる 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後の経過で理解できないことや不安なことを表出できる 創部の安静を保つことができる 疼痛がある時は医療者に伝えることができる 			<ul style="list-style-type: none"> 異常を自覚した時の対処方法が言える 退院に向けて創部の処置を自己で行える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		<ul style="list-style-type: none"> 普段飲んでいる薬や使用されている軟膏は一度預かります（お薬を継続するか、医師に確認後にお伝えします。） 寝る前に、下剤を飲みます（医師の指示により変更となる場合もあります） 患部を圧迫しないように体位が制限されることがあります。そのため体位の練習をすることがあります 準備するもの（T字帯枚2枚、バスタオル1枚、ストロー又は薬のみ） 深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングをお渡しします 	<ul style="list-style-type: none"> 6時頃に、体温、血圧を測ります 肌着を脱いで手術衣を着用します 弾性ストッキングを着用します 水分を補給するため、手術前に腕から点滴をします（朝一番の手術の場合、手術室で点滴をします） コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください 薬は、医師の指示に従いましょう 医師、看護師と一緒に3階の手術室に行きます 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室からベッドで部屋に戻ります 医師の指示で、酸素マスク、心電図をつけます 看護師が定期的に全身状態の観察を行います 食事が食べられるようになるまで点滴をします 	<ul style="list-style-type: none"> 創部の診察（ガーゼ交換）があります 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します 抗生剤の点滴をします 	<ul style="list-style-type: none"> 創部の診察（ガーゼ交換）があります 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します 抗生剤の点滴をします 	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚を移植した部分の傷を開け、チェックし消毒を行います 創部の診察（ガーゼの交換）があります
検査		<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 身体測定をします 		<ul style="list-style-type: none"> 予定されているものはありません。検査を行う時にはお知らせします 			
活動・安静度		<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静となります 手術した側を下にした横向きにはできないこともあります。医師の指示により少しずつ体を起こしていきます 血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや足の曲げ伸ばしをしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示があるまでベッド上安静です 	<ul style="list-style-type: none"> 許可が出れば車椅子で移動することが出来るようになります 	<ul style="list-style-type: none"> 移植した部分の傷を開けて状態がよければ医師からの歩行許可が出ます 初めて歩くときは看護師が付き添います
食事		<ul style="list-style-type: none"> 夕食は食べていただき、その後は麻酔科の医師の指示に従って下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 飲水、食事はできません。うがいはできます 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で、飲水・食事が開始となります。食べれない場合もあります 	<ul style="list-style-type: none"> 食事が開始となります 普通食です 		
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません 爪が伸びている場合は、切りましょう 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後はベッドの上で歯磨き、顔拭きをします（ベッドにご用意します） 	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たらシャワー浴ができます
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 手術中に尿を出すための管が入ります 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たら尿の管を抜き、トイレで排泄となります 	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		<ul style="list-style-type: none"> 入院生活についてオリエンテーションを行います 看護師が今までの生活についてお話を伺い、手術前後の経過について説明します 主治医より本人・ご家族へ手術の説明を行います。その後、手術同意書に署名・捺印していただきます 麻酔科の医師が麻酔について説明します麻酔同意書に署名していただきます 手術室看護師が伺います 	<ul style="list-style-type: none"> 手術は、（ ）番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます 手術室からの連絡は全て病棟に入りますので、ご家族の方は7階の病室かデイルームでお待ちください 貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい（鍵はご家族に預けてください） 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、医師から手術の説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> 体をねじったり、曲げたりなど創部を激しく動かすと傷が開くことがありますので、医師の指示があるまで安静を保ちましょう 歩行許可が出て1～2日は看護師と一緒に歩行しますのでナースコールでお知らせください 深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングを脱ぐ際には、看護師からお知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> 医師から今後の外来受診や治療予定について説明があります 看護師よりパンフレットを用いて退院後の日常生活の注意点、創部の処置の方法について説明します 	<p>宮崎大学医学部附属病院</p> <p>皮膚科外来 0985-85-9889</p> <p>皮膚科病棟 0985-85-1898</p> <p>総合予約室 0985-85-1225</p> <p>※時間外は病棟に電話をおかけください</p>

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院